

第18回都市経営会議 平成24年(2012年)11月12日(月)開催

議題1 宝塚市マネジメント方針2013及び平成25年度各部署戦略計画について
(報告)

【提案】 企画経営部

平成23年度からスタートした第5次宝塚市総合計画を効果的・効率的に推進し、将来都市像の実現を図るため、①「宝塚市マネジメント方針2013 平成25年度戦略計画(重点取り組み方針)」を策定し、この戦略計画に基づく、②「平成25年度各部署戦略計画(重点取り組み)について、市長ヒアリングの上、加筆・修正等を行った。

この①及び②をあわせて市全体の戦略計画とし、公表する。

【結果】 承認

【質疑等】

- ・ 事業実施にあたっては、人材、財源を含め厳しい状況である。戦略計画に記載された事業が全て採択できる状況ではない。企画経営部等での査定を通し、採択できる事業を絞り込んでいく。
- ・ 戦略計画は公表される。計画の中には具体的に記載されているものもある。公表にあたっては、人材、財源を含め厳しい状況であり、計画に記載された事業の全てが採択できる状況ではないとの断りを入れた上で公表するよう配慮が必要である。
- ・ 戦略計画に記載されている内容について、個別の事業を進める段階で、実施計画や予算査定の中で進捗調整が必要となるもの、事業規模の縮小が必要となるものが出てくることはある。しかし、計画に記載されているのに、全く取り組みがなされていないということがあってはならない。計画は課題を認識しながらも取りまとめたものであり、各部署は責任をもって取り組んでもらいたい。

議題2 公の施設(宝塚市立国際・文化センター)の指定管理者の指定について

【提案】 産業文化部

宝塚市立国際・文化センターを管理する指定管理者の指定期間が、平成25年(2013年)3月31日をもって満了することから、平成25年(2013年)4月1日から平成30年(2018年)3月31日までの間における当該施設の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求める。

【結果】 承認

【質疑等】

- ・ 指定管理者として選定しようとしている団体は国際交流事業は経験豊富であるが、

国際・文化センターの管理は国際交流だけでなく、異文化共生事業や他国籍の方を対象とした生活相談・情報提供事業の実施も求められる。こうした分野で活動するNPO法人も出てきている中で、公募を行わずに今回の指定管理者を選定しようとするものである。選定委員会からの選定理由の中に「施設や事業の広報活動、要支援者に対する情報提供、市民ニーズの的確な把握及び持続可能な組織体制作りなどの課題について、なお一層の取り組みが期待できる。」と述べられていることを真摯に受け止め、今後、検討を願いたい。

- ・ 選定を予定する団体は、国際交流事業を実施する団体として発足した経緯がある。現在は異文化理解事業など、市内在住外国人の生活を守るための取り組みが求められるなど課題もあるが、団体としても努力しているところである。今回は条例に基づき公募を行わずに選定しようとするものであるが、今後のことは指定管理事業を進める中で見極めていきたい。

議題3 宝塚市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【提案】 総務部

行政委員会委員報酬調査専門委員からの報告に基づき、教育委員会、選挙管理委員会及び農業委員会の委員報酬について改正を行う。

【結果】 審議資料に修正が生じたため、提案部からの申し出により、議案を取り下げた。

議題4 宝塚市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について

【提案】 管理部

平成25年4月から宝塚市立西谷幼稚園で3歳児を対象に幼稚園教育を実施すること、及び同園での預かり保育時間を延長することに伴い、入園料及び保育料に係る規定の一部を改正し、所要の整備を行う。

【結果】 承認

【質疑等】

- ・ 西谷地域における3歳児の保育について、子ども未来部との役割分担はどうなっているのか。
- ・ 西谷地域では、保育所部分についても教育委員会が所管する西谷認定こども園で担当している。今回、西谷認定こども園の幼稚園部分で3歳児を受け入れることにより、保護者の働き方や、預かり保育を利用することによっては、保育所機能を利用する必要がなくなり、結果として保育所部分に余裕ができ、待機児童の解消につながる。保護者の選択肢も増える。

- 3年保育の実施に伴い、施設の改修等が必要なのか。
- 異年齢混合保育の実施に伴う加配助教諭が1名必要となる。また、保育室の設備改修、備品等の購入が必要になると考えている。